

放課後等ディイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年1月15日
事業所名: 夢門塾二宮	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	10	0	0	・限られたスペースなので、可動式のテーブルを使用し、広く使えるよう工夫している。
	② 職員の配置は適切である	10	0	0	・利用者数に対して適切な配置をしているが、特性によってそれ以上の配置の時は、プログラムを工夫し対応している。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	9	1	0	・定時での換気・消毒に努め清潔を保っている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	0	・タスクを言語化して表にしている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	8	2	0	・毎回貴重なご意見を頂き、支援や運営の参考にさせて頂いている。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	8	2	0	・ホームページで公表している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	9	1	0	・資質向上のために自主勉強を行い会議に備えている。 ・合同での研修も定期的に実施されている。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	8	1	1	・1回/年程度のアセスメントを行っている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	10	0	0	・職員会議などで全体で話し合いを行っている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	9	1	0	・企画担当を変えている。 ・活動に変化を出すためアイデアを出している。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	9	1	0	・利用者の特性や教室の環境を踏まえ、その時に応じたプログラム作りに努めている。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	9	1	0	・毎回、個別活動と集団活動は行い、夢通信でも保護者様に共有している。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	0	・役割分担確認はしているが、自分なりに仮説をもって話を聞いている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	0	・短く簡潔にまとめられるように心掛けている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	9	1	0	・児童の変化を注視している。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8	2	0	・学習・工作・運動・音楽など毎日の活動に取り入れている。

関係機関、保護者様との連携	⑪ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	10	0	0	・下校時刻が違っていた際にも保護者の方に確認を取り、調整を行っている。
	⑯ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	9	1	0	・情報を相談支援事業所・学校などと共有できている。
	⑰ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	9	1	0	・卒業生がお世話になっている事業所や相談支援事業所と連絡を取り、情報共有できている。
	⑲ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	0	・専門機関との連携は現在のところ機会がないが、今後利用したいと思っている。
	⑳ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	9	1	0	・送迎時などにお子様の様子などをお伝えし、理解を得るよう努めている。
保護者様への説明責任等	㉑ 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	10	0	0	・契約時に行っている。
	㉒ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	8	1	1	・面談の機会などに相談を受け、対応している。
	㉓ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	10	0	0	・3回/年定期的に開催している。
	㉔ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	・早く対応して、納得して頂いている。
	㉕ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	10	0	0	・毎月10日までに夢通信を発信し、コドモンの機能を使って情報の発信を行っている。
	㉖ 個人情報保護に十分注意している	10	0	0	・職員会議などでも振り返りながら十分注意している。
	㉗ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	・どの職員も同じような対応ができるよう配慮している。
	㉘ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	7	2	1	・コロナ禍だったこともあり行っていないが、今後参加できる行事があるか調べたい。
非常時などの対応	㉙ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	9	1	0	・年間の研修にて復習をしながら、新しい情報を共有し周知している。
	㉚ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	9	1	0	・1回/月 火事・地震・不審者の訓練を実施している。
	㉛ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	・1回/年 全体での研修を受けている。 ・チェックシートの記入も実施している。
	㉜ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	10	0	0	・現在、計画に記載しているケースはないが、問題があった場合には、職員で話し合を行い、改善に向けての支援方法について考えている。 保護者様にも都度報告をしている。
	㉝ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	10	0	0	・実施できている。
	㉞ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	9	1	0	・毎月、職員会議でヒヤリハット件数や原因について集計し、改善に向けての話し合いを行っている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

保護者様の貴重なご意見を日ごろの支援に生かし、今後も安心して頂けるよう努めて参ります。
また、職員の資質向上に努め、相談支援事業所・学校・関係機関とも連携をしながら、より良い支援を目指して参ります。